



それは、望ましいまちづくりを進めていくための
市民みんなの「目標」であり、
市民のさまざまなニーズに対応するための、
市民と行政との「約束ごと」。
国際化や少子・高齢化、高度情報化が進む中、
小牧市は、これから
どんなまちを目指すのか？
そのために、何をどのように行うのか？
それらを明らかにし、
具体的な行動を示すのが
総合計画です。



総合計画って何だろう？

総合計画の構成と内容

「第5次小牧市総合計画」は、基本構想、基本計画および実施計画で構成します。

将来像実現のため

基本構想

基本構想は、目標とする小牧市の将来像を明らかにし、その目標を達成するために必要な施策の大綱などを定めるもので、期間は平成12年(2000年)からの10年間です。基本構想を実現するための計画として、基本計画と実施計画があります。

基本構想実現のため

基本計画

基本計画は、将来像や施策の大綱を実現するために必要な基本的な施策などを体系的に組み立てたもので、期間は平成12年(2000年)からの10年間です。基本計画を実現するための計画として、実施計画があります。

基本計画実現のため

実施計画

実施計画は、基本計画を効果的に進めるためのより具体的な計画で、予算編成の指針となります。期間は3か年で毎年見直すローリング方式により作成します。

かがやく創造のまち!

理想の未来を実現するために。

「人と緑 かがやく創造のまち」の実現のため、小牧市では以下の4項目を基本理念とします。また、それぞれに対応して重点プロジェクトを設定し、総合的な展開を図ります。



まちづくりの主角を担うひとづくり
人財創造プロジェクト



人にやさしい自然と共生したまちづくり
環境創造プロジェクト



来てみたくなる小牧の顔づくり
引力創造プロジェクト



市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくり
連携創造プロジェクト

目指すのは、「人と緑」

小牧市の将来像……それは「人と緑 かがやく創造のまち」！

市民と企業、行政が知恵を出し合い、力を合わせれば、

人と自然がかがやく、生き生きとしたあしたを創造できるはず。

信頼のパートナーシップを原動力に、

さあ、理想のまちづくりをスタートしましょう。

「みんなでつくろう楽しいまち みんなで守ろう小牧の自然」を合言葉にして、



将来像

人と緑

人にやさしい自然と共生したまちづくり

まちづくりの主役を担うひとづくり

基本構想

市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくり

基本理念

来てみたくなる小牧の顔づくり

人財創造
プロジェクト

環境創造
プロジェクト

連携創造
プロジェクト

引力創造
プロジェクト

重点プロジェクト

地域の力を高めるまちづくり
(地域自治の推進)

計画推進のために

基本計画

快適でやすらぎのあるまちづくり
(生活環境の整備)

健康で安心して暮らせるまちづくり
(保健・福祉の充実)

豊かな心と創造性を育むまちづくり
(教育・文化の振興)

にぎわいと活力のあるまちづくり
(都市・産業の基盤整備)

まちづくりの主役は、もちろん市民！
市民の元気が、そのまま小牧市の元気です。
一人ひとりが、生きがいと幸福を感じられる暮らしづくり、
まちづくりを目指して、よいスタート。
子どもからお年寄りまで、すべての人々が小牧市の財産です。



地域ぐるみ子育て事業

高齢者の知恵と力の活用

子育て相談をはじめ、児童館や児童クラブ、地域子ども会の活動…。豊かな人生経験にもとづく知恵と力を、さまざまな場所で発揮してください。

ゆとりと特色ある教育などの推進

ゆとりと特色のある教育を目標に、学校・家庭・地域社会が力を合わせ、児童・生徒の生きる力と個性、人間性や創造性を育みます。

児童の健全育成の推進

子どもたちを健やかに育てるために、児童クラブや子ども会活動をバックアップ。民間指導者の力にも大いに期待します。

青少年活動拠点整備

家庭・地域・学校が一体となって青少年の健全育成をサポート。さまざまな体験を通じて社会の変化に対応できるよう、青少年に活動の場を提供します。

健康な子どもを生み育てるための支援

お母さんが心身ともに健康で子どもを生み育てていけるよう、健康・相談・教育の事業を積極的に進めます。

スポーツ有望選手発掘・育成強化

力のある選手の育成に向けて、ハイレベルな指導者の派遣を進めます。また、小牧市ならではの特定種目の強化を図ります。

子育て支援の充実

家庭・地域・幼稚園・保育所が共に協力して幼児教育を推進。子育て相談機能の充実や支援を受けられる環境づくりを進めます。





主役は市民！

生涯現役のまち推進事業

地域活動拠点整備

市民みんなの活動や交流をバックアップするため、活動拠点などの環境を整え提供します。



生涯学習センター、生涯学習キャンパス整備

より快適で充実した人生！生涯にわたって学ぶことのできる環境を整えます。

運動処方ができる施設整備、ウォーキング推進

生涯にわたって元気で生き生きと。健康状態や年齢に合わせた健康づくりを始めましょう！

緑地管理協会組織拡充・高齢者活用

緑いっぱいのもちづくりを進めるために、高齢者の方々の活躍にも期待しています。

文化・芸術施設整備

各文化施設が共に協力して個性を発揮。さらに充実した学習の場を提供することで、市民の文化・芸術への関心を高め、自主的な活動を応援します。

介護保険制度の確立、適正運営

不安のない充実した長寿生活のために、治療・介護体制を確立するなどきめ細かな配慮をかたちにします。

図書館の整備

市民のニーズに応えられるよう新たな施設整備についても検討を進めます。

親緑空間整備事業

花工場整備、緑化 まちづくりセンター整備

公共施設を花いっぱいに供給できる施設や花と緑についての講座やイベントを開いたり、市民グループの活動拠点ともなる施設を整えます。

水辺空間整備

河川やため池などの適切な管理に努めるとともに、ピオトープや多自然型川づくりのモデル地域を設定し、うるおいのある水辺空間をつくります。

市民四季の森、 農業公園整備

四季の森は、緑の情報発信基地にふさわしい機能を整え、全面オープンを目指します。また、農家と消費者、人とのふれあいの場として、花と緑がいっぱいの農業公園を整備します。

水辺を生かした 緑道ネットワーク整備

公園や緑地、さらに大山川緑道や合瀬川緑道などを生かして水と緑のネットワークを整備します。

遊休農地、 耕作放棄地活用

市と農協、そして農家と一緒に、農業生産法人での利用や市民農園としてその有効活用を呼びかけます。



人にやさしいまちづくり事業

高齢者、障害者に やさしいまちづくり

安心して社会参加ができるよう高齢者や障害者にとって暮らしやすいまちづくりを進めます。

歩行者ネットワーク整備

公共施設間の安全で便利なネットワークを築くため、人にやさしく歴史や自然を生かした魅力ある歩行者空間をつくります。

人にやさしい 住まいとまちづくり

人にやさしい住まいとまちづくりを促進するとともに、公営住宅のバリアフリー化に努めます。

生活道路の再整備、 バス路線の充実

歩道と車道の分離や点字ブロックの設置などを進め、バリアフリー環境を整えます。また、各交通機関との結びつきを強め、利便性を向上します。





サイクルシティ推進事業

環境にやさしい
ライフスタイルの普及

ごみを少なくし、リサイクルや省エネを心がけるなど、地球にやさしいライフスタイルを広げていきましょう。

リサイクルセンター
建設、活用

ごみを資源として活用し再利用を進めるために、リサイクルセンターを建設。リサイクル相談などのコミュニティ機能や環境教育センター機能も整えます。

自転車を生かした
まちづくり

(自転車放置防止条例制定、自転車道、自転車駐車場整備・サイクルアンドライド) CO₂を排出することのない自転車を楽しく快適に活用する環境を整え、地球温暖化防止を進めます。

公共施設など
省エネルギー対策及び
新エネルギー導入推進

公共施設を整備する時には行政がまず率先して省エネルギー対策・新エネルギー導入に取り組み、その輪を広げていきます。

CO₂、有害物質排出抑制

地球温暖化の原因となるCO₂の削減と、各種有害物質の排出の抑制に積極的に努めます。

ISO取得支援

企業を支援するために、ISO(国際標準化機構)が定める国際規格、ISO9000シリーズやISO14000シリーズの認証の取得をバックアップします。



自然から学びたい。

地球にやさしい環境は、人にとってもやさしいはず。自然に耳をかたむけ、その声をききながらさわやかなまちをつくりましょう。市民みんなの力を合わせて。

「わがまち、小牧にようこそ」
 そんな言葉でお出迎え！
 誇りと愛着のもてるふるさとづくりを進めましょう。
 豊かな歴史と自然を生かした、
 わがまちならではの個性を発信します。



魅力・活力創造事業

スポーツ公園整備

スポーツに親しむ拠点として、また、全国的な大会やさまざまなイベントを開催できる施設として、また緑豊かなつろぎの空間として整備します。

総合体育館の活用

市民の活用はもちろん、著名人によるスポーツ教室などイベントの開催も進めます。

小牧山整備・周辺整備事業

ふるさとのシンボルにふさわしく、歴史と自然が調和した整備を進めます。

いきいきリフレッシュ エリア構想推進

広域的な連携も含め、歴史と自然、レクリエーション施設などのネットワーク化を進めます。

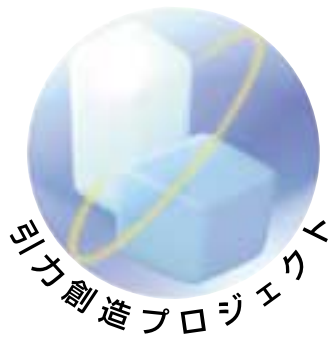
工業立地のための 基盤整備

先端産業やベンチャー企業を誘致するため情報基盤を整え、周辺環境などにも配慮した工業団地の整備を進めます。

高次都市機能の集積

都市機能を集積し、生活・文化・産業の高度な情報発信基地にふさわしいまちづくりを進めます。





小牧におどりよう！



美空間・にぎわい空間整備事業

景観条例制定

私たちのまちをもっと美しく！市民みんなの願いを実現するために条例をつくりま

花いっぱい運動・緑化推進

花と緑いっぱいのまちを目指し、まちぐるみで運動・活動を進めましょう。

A街区再開発事業、 D街区整備

それぞれ、まちの顔にふさわしい話題性のある施設づくり、にぎわいのある商店街づくりに取り組みます。

シンボルロード整備

シンボルロードとなる小牧駅前線は都市景観を大切に、その整備を進めます。

市街地道路 ネットワーク整備

歩行者と自動車が、ともに安全で快適であるよう道路のネットワーク化、人にやさしいまちづくりを進めます。





市民参加、
市民活動支援条例制定

行政への積極的な市民参加や自主的な活動を進めるため、市民のさまざまな分野にわたる活動をバックアップします。

公園ボランティア育成

地域の公園は、そこに暮らす人が管理ができるよう、公園ボランティアの育成と指導に努めます。

まちづくり協議会組織化、
支援条例などの整備

住みよい環境づくりを目指し、コミュニティごとのまちづくり協議会をつくります。また、そのための条例などを整えます。

審議会などへの
女性の登用

平成22年（2010年）を目標に、審議会や委員会において女性の登用率が30%になるよう目指します。

市職員の地域活動参加、
アドバイザー化

市職員が、地域の活動に積極的に参加できるようにサポートします。さらに、地域活動や地域リーダーに対して、適切なアドバイスができるよう養成します。

情報コーナーの充実

行政情報の公開を進めるために、利用しやすく親しみやすい公文書公開コーナーや行政情報コーナーを設けます。

事務事業評価システム、
目標管理システム確立の検討

より効率的な行財政運営を目指したシステムの研究を進めます。

率先活動の実践

市自ら事業者・消費者として環境保全に取り組むとともに市民・企業が、自ら率先して環境保全のために活動できるよう働きかけます。





まず、私たちが 参加しよう！

市民と企業と行政。
みんなの力がひとつになれば、
夢は、きつとかなうはず。
それぞれの役割を果たし、広げて、
市民による市民のための
まちづくりを実現しましょう。



「連携」からの 「創造」を目指して

新たな千年紀、市制45周年の節目の年に合わせ、市民の皆さまのご参加とご協力により、第5次小牧市総合計画を策定しました。



この新しい総合計画「かがやきクリエイション21」の将来像は「人と緑 かがやく創造のまち」です。

これは、大切な自然を守り、環境と調和しながら、市民一人ひとりが生き生きと暮らせるまち、更にはモノづくりの拠点、産業都市としてはもちろん、市民の生きがいや誇り、小牧ならではの文化を創造するまちを目指すという意味を含めたものです。

少子・高齢化、地球規模での環境問題など時代の潮流は、20世紀の延長では、必ずしも真の豊かさが得られないことを示しています。また、地方分権や厳しい財政環境は、今までのまちづくりに対する発想や取り組みへの大胆な転換を求めています。

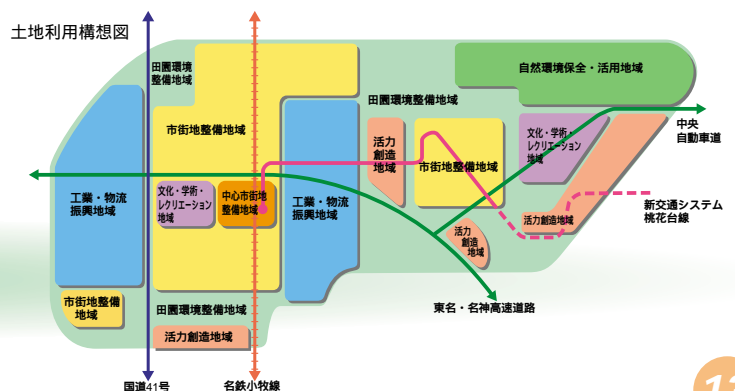
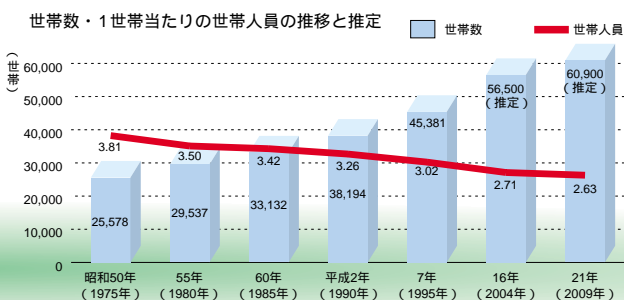
本市は、先人の努力により、尾張北部の活力ある中核都市として着実に発展してきました。これからも、この総合計画を共通の目標として、市民・企業・行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら、連携して小牧らしさがあふれるまちを創造していきたいと考えております。

最後に、この計画策定にあたり、数多くのご貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、精力的にご審議いただきました総合計画審議会委員、市議会ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成12年3月

小牧市長 中野直輝

それでもなお、10年後には新しい夢と課題が生まれているはず。環境問題をはじめ、一朝一夕にはかなえられない理想もあります。だけど、まずはこの10年で何かが大きく変わるはず。市民みんなのチャレンジを集めて、市民のためのまちづくりを達成しましょう。



10年後の小牧市を シュミレーション!

10年後 活気にあふれる

中心市街地には、

話題を集めるショップが立ち並び、

市内外から多くの人々が集まっているようです。

もちろん、緑もいっぱい! 四季それぞれに表情を変えて、
花と緑が、人々の心をなごませてくれます。

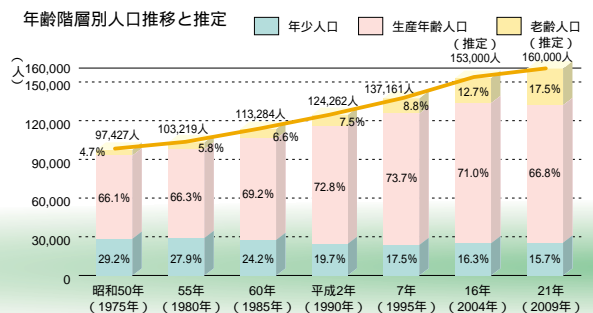
赤ちゃんからお年寄りまで、すべての市民が安心して暮らせるように、
まちのいたるところにやさしさが見られます。

職場や学校、コミュニティスペースなど、一人ひとりの個性がかがやくシーンからは、
また新しい何かが生まれてきそう。

力をたずさえ心をよせあえば、未来を拓く、素晴らしい可能性が広がります。

グラフで見る 小牧市民の将来像

小牧市の総人口、10年後は約16万人に!



小牧市民憲章

わたくしたち 小牧市民は、小牧を

1 健康で生きがいのある

明るいまちにしましょう

1 感謝と思いやりのある

あたたかいまちにしましょう

1 緑とやすらぎのある

美しいまちにしましょう

1 高い文化と教養のある

豊かなまちにしましょう

1 希望と働く喜びのある

活気あふれるまちにしましょう

昭和60年5月15日制定



小牧市



古紙配合率100%再生紙を使用



環境にやさしい大豆油インクを使用しています。